

## 専攻実習Ⅱ

講師名	小田島 裕	実務経験等	農業改良普及センターでの普及指導員としての経験を活かし、主要品目の栽培管理技術、環境制御技術及び国際基準GAP手法を理解し、卒業研究の対象品目について計画的な栽培に取り組み、実践的な管理能力を養うための実習を担当している。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専攻科目	農産園芸・野菜	必修	2	通年	495	11
使用教科書・副教材	2019年度岩手県野菜栽培技術指針(岩手県)、令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針(岩手県植物防疫協会)、防除ハンドブック菜園の病害虫(全国農村教育協会)、楽しく作ろういわての恵み(岩手県農業改良普及会)、図解でよくわかる植物工場のきほん(誠文堂新光社)等					
授業の目的	主要品目の栽培管理技術、環境制御技術及び国際基準GAP手法を理解し、卒業研究の対象品目について計画的な栽培に取り組み、実践的な管理能力を養う。					
授業の到達目標	主要品目の栽培管理技術、環境制御技術及び国際基準GAP手法を理解し、卒業研究の対象品目について計画的な栽培ができる。					

月	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4～5月	野菜の育苗管理、圃場準備、定植	野菜の播種から育苗管理、栽培圃場への施肥・資材準備及び定植までの一連の作業について理解を深め、技術を習得する。	20	実習	
4～11月	野菜の調査手法	野菜の主要品目について、生育、収量及び品質の調査手法と調査データの活用方法を習得する。	90	実習	
	野菜の栽培管理技術	野菜の主要品目について、生理生態や環境・生育調査データに裏付けされた栽培管理方法の理解を深め、技術を習得する。	90	実習	
	野菜の生理障害・病害虫の診断と対策	野菜の主要品目について、正常な生育の理解を深め、生理障害や病害虫被害の診断技術を習得し、その対策について学ぶ。	90	実習	
4～12月	農作業機械の運転操作	野菜栽培や圃場管理に関わる農業機械器具の運転操作・使用方法を習得し、安全操作と事故対策について理解を深める。	70	実習	
4～1月	GAPの取組	野菜における国際基準GAP手法について実習を通じて理解を深め、実践する。(4～1月:実践、10月:審査に向けた取り組み)	76	実習	
5～11月	野菜の収穫調製技術・販売実習	野菜の主要品目について、収穫適期の判断と青果物出荷基準に基づく調製作業を習得する。また、対面販売や農大祭等を通じて、野菜販売の手法や消費者ニーズを学ぶ。	60	実習	
合計			496	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

技術の習熟度、出席状況、受講態度により評価する。

習熟度:60%(技術の習熟度)

平常点:40%(出席状況、受講態度)

履修に当たっての留意点等

圃場での実習が主体となるため、作業着・長靴等作業に適した服装で臨むこと。  
天候や野菜の生育状況により、実習内容の変更や教室での講義に変更となる場合もある。